



東京大学名誉教授
三木 安正氏
(1911年～1984年)



尾張徳川家
徳川 正子氏
(1913年～1998年)

徳川正子氏は障がいのあるご息に適切な教育を受けさせたいと願い、当時障がい児教育と研究に携わっていた三木安正氏に相談され旭出学園が開設された。三木氏は「子どもの成長と共に学園も成長していく」という構想のもと、生活を働く場を設立した。

創始者

沿革

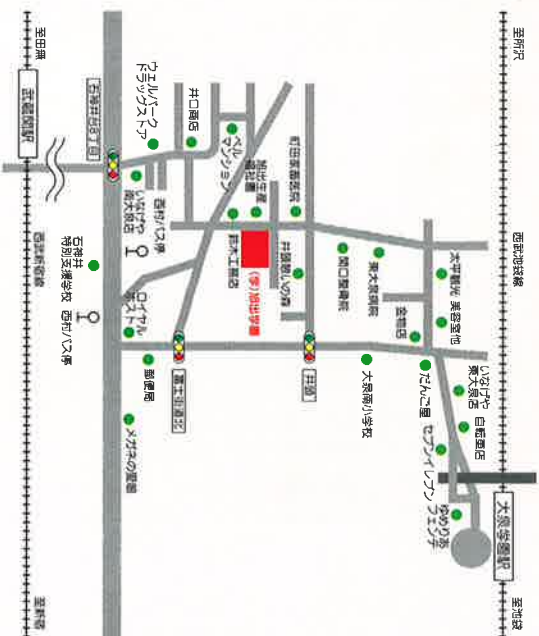
- 昭和 25年 豊島区目白町の徳川邸に開園
- 35年 董議学校の認可を得て学校法人になる
- 37年 練馬区東大泉に移転し、1号館等落成
- 39年 小学部と教育研究所の2号館落成
- 41年 中学部、高等部、体育館が落成
- 52年 皇太子同妃殿下行啓される
- 平成 11年 生活自立寮の指導が始まる
- 22年 旭出学園 (特別支援学校) に校名変更

関連施設

- 旭出生産福祉園
- 大和根旭出福祉園
- 調布福祉園
- 徳丸福祉園
- 旭出調布福祉作業所
- 社会福祉法人富士旭出学園

入学までのプロセス

- 学校見学 (随時)
- 入学相談 (5月～)
- 体験入学 (6月～)
- 入学審査 (2月上旬)
- 合格発表 (2月上旬)
- 入学説明会 (2月下旬)



〒178-0063 東京都練馬区東大泉 7-12-16

- 西武池袋線 大泉学園駅南口より 61 吉祥寺駅行
- JR 中央線 吉祥寺駅北口より 61 都民農園セコニツク、新座栄行
- 西武新宿線 武蔵関駅南口より 61 都民農園セコニツク、新座栄行
- いずれも「西村」バス下車 徒歩7分

ご挨拶



理事長 上野 一彦

多様な子どもたちの、さまざまな育ちや支援の取り組みを大切に、子どもたちが成長できるよう、保護者の皆様と御一緒に考え、歩んでいきたいと思っております。

学校見学・相談

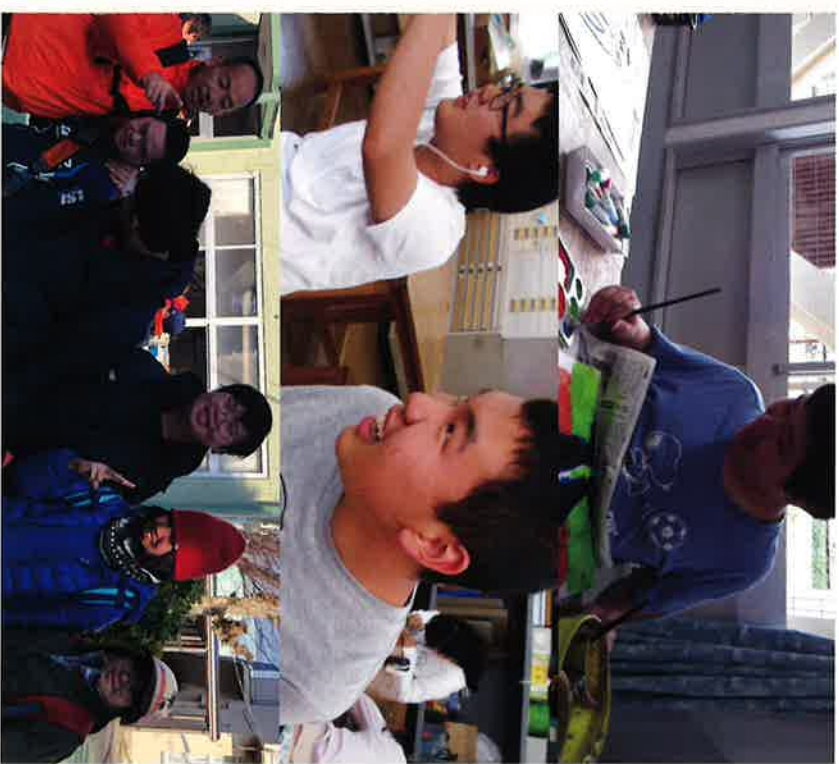
- ・見学相談日 月・水 10:00～12:00
 - ・公開授業進学相談会 ホームページ参照
- ※上記以外にも個別に対応致します。ご連絡ください。

03-3922-4134

FAX 03-3923-4009

✉ miki-1950@asahide.ac.jp <http://www.sahide.ac.jp>

生産人の自覚を持って
心豊かな生活ができる人
を育てる



学校法人 旭出学園
旭出学園
(特別支援学校)

教育目標

「生産人の自覚を持って 心豊かな生活ができる人」 を育てる

人としての喜びは、自分の力相応の仕事があり、その働きが認められ、
自分が役に立っていると自覚できることです。
各自が生活の目標を持ち、好ましい環境の中で充実感と安定した気分
で過ごせるよう支援します。

同窓会
旭出あおば会
個別相談、就労と余暇
支援を行い、卒業後の
支援を行います。

教育研究所



児童・生徒への検査の実施。
個別指導、教育相談などを行い、
外来の相談：指導も行っています。

生活自立寮



高等部と専攻科の2年生に
なる6週間の入寮生活を送ります。
体験の入寮も応じています。

スカトンスサイン 親子教室



サインを子育てに取り入れて
お子さんとコミュニケーションが楽し
く行えるように支援します。

教育方針

本校は、実際の生活を通して生活のできる人を育てる
「生活教育」、自分の力を発揮し意欲的に責任をもって
仕事ができる人を育てる「生産教育」、将来に向け自立
と社会参加を実現するために、生涯にわたる学びを支
援する「生涯教育」で、人間的な成長をめざします。
幼稚園から高等部専攻科までの一貫した教育期間の中
で、発達段階に合わせた指導をしています。
学内にある生活自立寮での体験もあり、
卒業後は同窓会「旭出あおば会」で支援をしています。
教育研究所では、学内専門家（心理・ST）として相談
・指導を行っています。
英国から「スカトンス法」を導入しサインとシンボルを
使った言語・コミュニケーション指導に取り組んでい
ます。

幼稚部・小学部



遊びを通し、友達や先生との関わりの中で、人との
信頼関係を育みます。
身辺生活の基本的習慣もしつかり身につけます。

中学部



思春期の心に寄り添いながら仲間との関わりを通し
学ぶことを支援していきます。五感を使った体験を
通して興味や関心を広げていきます。

高等部



仲間と学校生活を楽しみ、自分の得意なことを見つけ
伸ばします。
作業学習では社会生活に必要な基礎を学びます。

高等部専攻科



将来に必要な「家庭生活」「職場生活」「地域生活」
を学びながら現場実習を体験し自分の進路を考え
社会へ移行していくための学習を進めます。